



令和5年度 事業報告



人間を救うのは、人間だ。

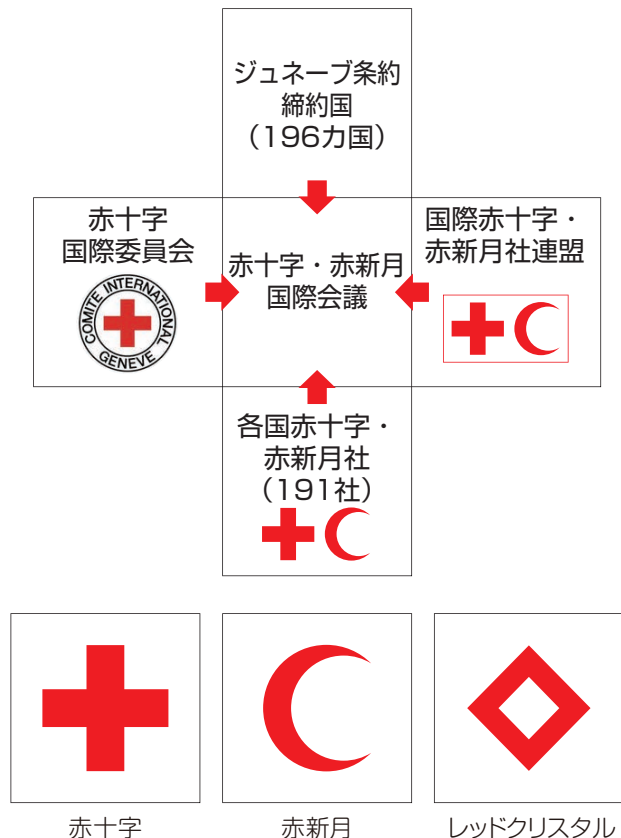
赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカスティリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



国際赤十字・赤新月運動の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8
改正:第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。

人道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

公平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

中立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時のいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

独立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行なわなければならない。

世界性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

CONTENTS



1 全国赤十字大会…………… 1

2 赤十字会員と活動資金の状況…………… 1

3 災害救護…………… 2

4 国際活動…………… 9

5 救急法等の講習…………… 10

6 赤十字奉仕団……………15

7 青少年赤十字……………19

8 医療事業……………23

9 血液事業……………25

10 赤十字思想の普及……………26

11 香川県赤十字有功会……………27

12 評議員会……………28

13 決算概要……………28





全国赤十字大会

大会は、令和5年5月18日（木）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約1,300人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催されました。香川県からは、奉仕団委員長等25名の代表者が参会しました。

◎大会次第

- プロローグ
活動記録「赤十字この一年」上映
- 式典
 - ・有功章ご授与
 - ・社長表彰
 - ・厚生労働大臣祝辞
 - ・実践活動の報告
「ウクライナ人道危機～終わりの見えない紛争に生きる人びとに寄り添って～」
(矢田 結/事業局 国際部 国際救援課 主事)
 - 「非接触でボランティア活動継続中！～学校のある地域のためにできること～」
(松本 有紗/千葉県立四街道高等学校 JRC 同好会 部長)



赤十字会員と活動資金の状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。令和5年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

◎会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
令和元年度	57,149	3,519	60,668
令和2年度	53,396	3,829	57,225
令和3年度	51,151	3,691	54,842
令和4年度	51,344	3,316	54,660
令和5年度	45,958	3,378	49,336

◎活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
令和元年度	131,040,637	34,639,871	165,680,508	146,000,000
令和2年度	126,646,963	41,930,067	168,577,030	146,000,000
令和3年度	152,582,737	42,600,311	195,183,048	146,000,000
令和4年度	134,580,946	40,051,814	174,632,760	146,000,000
令和5年度	140,628,704	40,186,629	180,815,333	146,000,000



会費募集の風景（坂出市）



活動資金の贈呈式



災害救護

災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

●救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位/人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	合計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

●dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位/人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	合計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1名がチームリーダー、主事のうち1名がサブリーダーとなります。



●災害救護活動

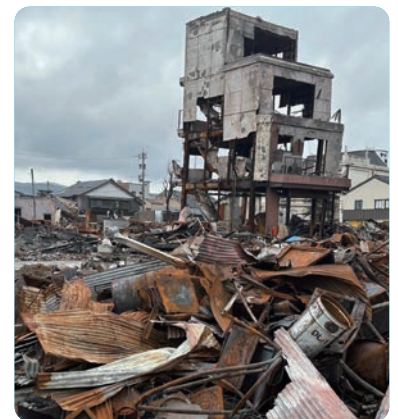
①「令和6年能登半島地震」災害に対する対応

令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震は、石川県を中心に甚大な被害をもたらしました。

多くの人々が日常を奪われ避難所生活を送る中、日赤は発災直後から本社・各支部が総力をあげて救護班の派遣や救援物資の配布など、被災者の支援に動いています。

日赤は、発災翌日の1月2日から災害医療コーディネートチーム、および救護班（DMATを含む）を現地に順次派遣し、被災者の手当や診療などの救護活動を開始しました。

避難所や医療支援が届きにくい孤立した集落や施設へ向けては、巡回診療も行いました。また、多くの赤十字ボランティアの協力により、毛布や安眠セット、簡易トイレなどの救援物資を配布する活動も実施しました。



○こころのケア活動支援医師

救護班員／1人（香川県より医師1人）
 派遣日時／1月15日（月）～1月22日（月）
 活動場所／石川県支部、金沢赤十字病院、能登中部保健所、DPAT 支援指揮所
 志賀町役場富来行政センター、能登中部保健福祉センター、
 七尾市役所（本部支援、こころのケアチーム調整）

○救護班第1班

救護班員／10人（医師2人、看護師長1人、看護師2人、薬剤師1人、主事4人）
 派遣日時／1月21日（日）～1月26日（金）
 活動場所／七尾市内 避難所他（巡回診療、アセスメント、避難所調整活動）
 能登島生涯学習センター、八ヶ崎集会所、能登島コミセン、野崎集会所、
 半浦集会所、中島地区コミセン西岸分館、中島地区コミセン豊川分館、
 田鶴浜高校、旧北嶺中学校、鶴裏ふれあいセンター、崎山地区コミセン、
 七尾東部中学校、高階地区コミセン、中島鉦打農林漁家高齢者センター、
 菅原集会所、外衆和館（集会所）、崎山集会所、東湊地区コミセン、
 山王小学校

患者数／20人

○高松日赤DMAT 1班

救護班員／4人（医師1人、看護師長1人、看護師1人、主事1人）
 派遣日時／1月22日（月）～1月27日（土）
 活動場所／能登町保健医療福祉調整本部
 （巡回診療、アセスメント、物資搬送）
 能登町役場、夕凧、朝凧、第二長寿園、長寿の郷、
 グループホームぼかぼか、特別養護老人ホームこすもす、
 ケアホームいるか乃里、鶴の恩返しホーム、鳳寿荘

○被災地医療機関支援看護師

救護班員／1人（看護師派遣）
 派遣日時／1月27日（土）～2月2日（金）
 活動場所／市立輪島病院

○災害医療コーディネーターチーム第1チーム

救護班員／4人（コーディネーター：医師1人、
 コーディネータースタッフ：看護師長1人、主事2人）
 派遣日時／1月28日（日）～2月2日（金）
 活動場所／石川県庁災害対策本部

○こころのケアチーム（四国合同チーム）

救護班員／主事1人（徳島・愛媛・高知から看護師3人、香川から主事1人）
 派遣日時／2月2日（金）～2月8日（木）
 活動場所／石川県支部、志賀町内避難所（志賀町西浦防災センター、旧土田小学校、
 給分会館、福浦工芸工房、やすらぎ荘、稗造防災センター、稗造公民館、
 富来活性化センター）

○救護班第2班

救護班員／9人（医師2人、看護師長1人、看護師2人、薬剤師1人、主事3人）
 派遣日時／2月6日（火）～2月10日（土）
 活動場所／七尾市内 避難所他
 （巡回診療、健康相談、こころのケア）
 矢田郷コミセン、七尾市立天神山小学校、徳田地区コミセン、
 田鶴浜コミセン、田鶴浜体育館、田鶴浜高校

患者数／7人

○救護班第3班

救護班員／8人（医師2人、看護師長1人、看護師2人、薬剤師1人、主事2人）
 派遣日時／2月19日（月）～2月23日（金・祝）
 活動場所／七尾市内 避難所他（巡回診療、健康相談、こころのケア）
 山王小学校、徳田地区コミセン、矢田郷コミセン、三室会館、
 崎山地区コミセン、七尾東部中学校、天神山小学校、高階地区コミセン、
 小丸山小学校、御祓地区コミセン

患者数／6人



○災害医療コーディネートチーム第2チーム

救護班員／3人（コーディネーター：医師1人、
コーディネートスタッフ：看護師長1人、主事1人）
派遣日時／2月24日（土）～2月29日（木）
活動場所／石川県支部



○災害医療コーディネートチーム第3チーム

救護班員／3人（コーディネーター：医師1人、主事2人）
派遣日時／3月4日（月）～3月9日（土）
活動場所／能登中部保健医療調整本部

○被災地医療機関支援看護師

救護班員／1人（看護師派遣）
派遣日時／3月13日（水）～3月18日（月）
活動場所／市立輪島病院



○こころのケア活動支援医師

救護班員／1人（香川県より医師1人）
派遣日時／3月24日（日）～3月30日（土）
活動場所／石川県支部

災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

令和5年5月能登地方地震災害義援金	(11件)	88,058円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	(3件)	43,005円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	(5件)	104,697円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	(12件)	378,642円
令和5年台風第6号災害義援金	(4件)	25,490円
令和5年台風第13号災害義援金	(3件)	24,116円
令和6年能登半島地震災害義援金	(952件)	103,330,504円
(合計)	(990件)	103,994,512円

災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

●災害救援物資の備蓄状況（令和6年3月31日現在）

品名	地区別	令和4年度末備蓄数	本年度増減数				令和5年度末備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理換	県内へ配分	転用		支部	地区等
毛布	(枚)	4,026	0	0	66	0	3,960	3,400	560
緊急セット	(個)	939	0	0	31	0	908	810	98
安眠セット	(個)	834	0	0	0	2	832	756	76
バスタオル	(枚)	822	0	0	0	0	822	650	172
ブルーシート	(枚)	593	0	0	0	0	593	540	53
タオルケット	(枚)	1,990	0	0	0	0	1,990	1,990	0



**緊急セット
《1世帯（4人分）》**

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下

●火災等による被災者や避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布(枚)		22	7	4	0	6	1	15	9	1	0	1	66
緊急セット(個)		16	2	4	0	2	1	0	4	1	0	1	31
安眠セット(個)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

●火災等による被災世帯や死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		320	40	80	0	20	40	20	100	20	20	40	700
弔慰金		100	20	0	0	0	20	20	40	0	0	0	200
中国帰国者見舞金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		420	60	80	0	20	60	40	140	20	20	40	900

救護員の養成

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
救護員任命式	4月7日(金)	赤十字救護員	52	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月7日(金)	赤十字救護員、指導者	36	高松赤十字病院	災害診療録、J-SPEED 概論
支部・施設合同救護員主事対象研修会	5月10日(水)	赤十字救護員、指導者(主事・ロジスティックス)	13	日本赤十字社香川県支部	ステップ1研修(救護業務概論)災害時の主事の役割と業務、法規、救護車両・救護資機材操作
こころのケア研修	7月7日(金)	赤十字救護員、指導者	32	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のこころのケア、災害時のストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員のケア)、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同赤十字救護員基礎研修会	9月21日(木)	赤十字救護員候補者・研修医	57	高松赤十字病院	(座学)赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害医療概論、救護業務で活用するシステムや診療録、救護所設営机上演習、基礎行動
	10月13日(金)	赤十字救護員候補者・研修医	51	香川県青年センター	救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・発電機・医療資機材)、救護所設営(エア Tent・パイプ Tent)トリアージ救護シミュレーション(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセスメント)



●DRASHテント(大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できるフレーム一体式テント)の操作研修の実施

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
救護員実践研修会	6月16日(金)	赤十字救護員	53	香川県青年センター	DRASHの運用、学科研修・実技研修の留意事項、グループワーク、DRASHの展開実習等、救護資機材操作、現場救護所シミュレーション



日本赤十字社中国・四国各県支部合同訓練・研修会への参加

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
中国・四国各県支部合同災害救護訓練	11月11日(土)	赤十字救護員、指導者	15	日本赤十字社愛媛県支部 松山赤十字病院 愛媛県障がい福祉センター体育館・グラウンド	日本赤十字社東南海・南海地震対応計画及びマニュアル等の共有、災害時の情報共有ツールの共有、災害救護活動支援の申し合せの共有
原子力災害対応基礎研修会	12月4日(月)～5日(火)	赤十字救護員	6	あわぎんホール	放射線防護の基礎知識、原子力災害対策指針、放射線防護資機材について、デジタル個人線量計の使用法、防護服着脱方法



他機関の防災訓練等への参加

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
香川県総合防災訓練	9月3日(日)	赤十字救護員 救護員候補(日赤看護師) 赤十字防災ボランティア	91	徳島文理大学	dERU運用、救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送、無線交信
大規模地震時医療活動訓練(政府訓練)	9月30日(土)	赤十字救護員 県庁リエゾン 赤十字防災ボランティア	15	香川県庁及び香川大学医学部附属病院(dERU支援)	香川大学医学部附属病院診療支援、病院前救護所開設、通信訓練、県庁へのリエゾンの派遣
香川県石油コンビナート総合防災訓練	11月2日(木)	赤十字救護員	9	川崎重工(株)坂出工場	救護所開設、トリアージ、応急医療、負傷者搬送



臨時救護

津田の松原海水浴場等5か所に救護員等延べ9人を派遣し、負傷者13人の手当てをしました。

- ・幼稚園まつり
- ・香川県障害者スポーツ大会
- ・青少年赤十字トレーニング・センター
- ・中国四国管内警察逮捕術大会
- ・津田の松原海水浴場



赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動（情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など）や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

◎香川県赤十字防災ボランティア活動状況

登録人員（団体）216人（個人登録） 2団体（団体登録）

行事名	月日	参加者	人数	場所	内容
防災ボランティア基礎研修会	6月10日(土)	赤十字防災ボランティア等	48	日本赤十字社香川県支部ボランティア室 他	赤十字防災ボランティア活動のガイドラインの説明、平成30年7月豪雨災害活動報告、災害救護装備・救護車両見学、非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当
防災ボランティア実践研修会	令和6年1月20日(土)	赤十字防災ボランティア等	52	香川県青年センター	災害時の心得、無線使用方法、クロノロ体験、救護テント等設営、応急手当、搬送法



「赤十字地域防災セミナー」の実施

大規模災害から人々のいのちを守り、その被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害発生時には、地域の人たち自らが迅速かつ的確に対応し、速やかに復旧・復興につなげることができる強靱な地域コミュニティが重要です。

このため、地域コミュニティにおける防災教育の一層の普及推進を図る場として、赤十字地域防災セミナーを開催しました。

体験内容

- 災害ボランティアセンター運営訓練
- クロスロードゲーム
- 災害に役立つ応急手当
- その他（气象台等の基調講演 家庭内DIG）
- ドローイングチャレンジ
- 災害エスノグラフィー
- 避難所運営ゲーム

月日	地域	対象者	人数
5月28日(日)	善通寺市中央	奉仕団員・自治会員	50
6月24日(土)	東かがわ市	奉仕団員	40
7月29日(土)	高松市弦打	奉仕団員・児童・保護者	50
10月14日(土)	さぬき市大川	自治会、民生委員、奉仕団員	50
10月29日(日)	土庄町	子ども会、自治会員、協議会員	50
11月16日(木)	綾川町	綾川・宇多津奉仕団	50
11月25日(土)	坂出市金山	奉仕団員・自治会員	30
12月 2日(土)	まんのう町神野	奉仕団員、地域住民	35
12月 3日(日)	直島分団宮ノ浦	奉仕団員、地域住民	36
12月 3日(日)	直島分団本村	奉仕団員、地域住民	23
1月13日(土)	高松市二番丁	奉仕団員・自治会員	36
1月21日(日)	丸亀市飯山南	婦人会、婦人防火クラブ、コミュニティ部会員	26
2月 3日(土)	観音寺市	奉仕団員、自治会長、町社協職員	50
2月 4日(日)	まんのう町吉野	日赤吉野分団、社協吉野支部、吉野地区連合自治会、まんのう町国際交流会等	70
2月 4日(日)	まんのう町高篠	奉仕団員、地域住民	50
2月13日(火)	さぬき市	奉仕団員(婦人会)	50
3月10日(日)	高松市西植田	奉仕団員(婦人会)、自治会長、コミセン職員	100
3月16日(土)	観音寺市大野原	奉仕団員(婦人会)、自治会長、町社協職員	32
合計 18 回		合計 828 人	



日本赤十字社防災教育事業指導者養成研修の実施

他団体との連携による地域の防災教育の推進とレジリエンスの強化を目的に、実践的な指導員を養成し、本県における防災教育事業を推進するため指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時／令和6年1月15日(月)～16日(火)
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室
- 養成人員／17人



～温故備震 故きを温ね明日に備える～「関東大震災あれから100年 赤十字防災の日イベント」

2023年(令和5年)は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災から100年目の節目の年でした。今生きている我々、特に赤十字に関わっている者として、過去に起こった歴史や事実を決して忘れることなく、次世代に紡いでいく使命があります。

未曾有の被害をもたらした関東大震災を振り返り、県民の方々の防災意識の高揚と災害時におけるボランティア活動を広く一般にアピールするため、赤十字防災の日イベントを開催しました。

イベントでは、関東大震災発生直後の状況や過去の災害を振り返るパネル展示のほか、災害時に役立つ応急手当の体験や、救援物資の展示を行い、日本赤十字社の最も重要な活動である災害救護活動を県民の方々に広く理解していただきました。

- 日 時／令和5年9月1日(金) 11:00～15:00
- 場 所／高松丸亀町壱番街ドーム広場
- 参加者／一般来場者 586人
- 内 容／パネル展示…香川県支部の過去災害救護活動等の写真展示
講習会体験…災害時に役立つ救急法体験、
避難所で役立つ知識・技術、ロープワーク体験等



「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

「さぬきこどもの国」にて、「防災とボランティアのつどい～親子で学ぼう防災、広げよう減災～」を開催しました。

このイベントは、阪神・淡路大震災の翌年から、日本赤十字社香川県支部が香川県災害ボランティア連絡協議会の構成団体と共催で、災害への備えや災害の爪痕の記憶を忘れないための追悼のイベントとして開催し、東日本大震災の5年後からは、開催時期を3月に移して毎年続けています。

必ずやってくる大災害に備え、特に親子や家族にフォーカスを絞り「防災・減災」の考え方を普及させるため、救護活動や防災活動の写真展示のほか、親子で学ぶ体験ブースコーナーでは、防災ボードゲームや津波のしくみ、AED体験など、親子で楽しく防災の意識を高めてもらえるように工夫を凝らしました。

- 日 時／令和6年3月9日(土) 10:00～15:00
- 場 所／さぬきこどもの国(高松市香南町)
- 参加者／一般来場者 809人
- 内 容／活動パネル展示…防災関連団体の活動をわかりやすく展示
学べる体験ブース…参加団体が防災をテーマにした楽しい体験





国際活動

日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行います。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

国際救援

◎海外救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(620件)	503,159円
海外救援金(地域指定なし)	(3件)	211,000円
中東人道危機救援金	(22件)	60,000円
バングラデシュ南部避難民救援金	(23件)	69,000円
アフガニスタン人道危機救援金	(2件)	146,842円
ウクライナ人道危機救援金	(126件)	3,213,219円
2023年トルコ・シリア地震救援金	(58件)	1,764,619円
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	(6件)	28,506円
2023年モロッコ地震救援金	(3件)	15,214円
2023年リビア洪水救援金	(1件)	2,139円
2023年アフガニスタン地震救援金	(1件)	12,733円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	(8件)	319,481円
(合計)	(873件)	6,345,912円



◎「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、12月9日(土)に高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場付近の高松市内2カ所において青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月1日(金)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

- オープニングセレモニー
 - 【青少年赤十字加盟校】
 - 二番丁学園 二番丁幼稚園
- 街頭募金参加団体
 - 【青少年赤十字加盟校】
 - 香川県立高松北中学校
 - 高松市立下笠居中学校
 - 高松市立下笠居小学校
 - 香川県立三木高等学校
 - 尽誠学園高等学校
 - 【赤十字奉仕団】
 - 高松市赤十字奉仕団
 - 香川県青年赤十字奉仕団
 - 香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
 - 高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
 - 四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
 - 穴吹学園学生赤十字奉仕団
 - 【その他】
 - 久光製薬株式会社高松営業所



開発協力

◎アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアの研修を行っております。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。



研修を受けたバングラデシュ赤新月社のボランティアが給水キットを設置している様子 ©日本赤十字社



給水・衛生災害対応キットの研修を受けるマレーシア赤十字社のボランティア ©日本赤十字社

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業資金の拠出 726,481円
(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額) 7,000,000円



バングラデシュ北東部の洪水災害時に、被災者の家を訪問して安全な水を配付するバングラデシュ赤新月社職員 ©BDRCS



救急法等の講習

赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和5年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

救急法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

●救急員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学校 看護学科2年生、歯科衛生学科3年生	58	58
穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科	51	24
香川県警察学校 初任科93期生	54	54
香川県立高松南高等学校看護科1・2年生	67	65
香川県立飯山高等学校看護科1・2年生	62	62
四国こどもとおとなの医療センター附属普通寺看護学校2年生	65	65
尽誠学園高等学校衛生看護科2年生	32	32
藤井学園 寒川高等学校看護専攻科1・2年生	36	36
高松赤十字病院	24	23
日本赤十字社香川県支部(3回)	124	118
計12回	573	537



●基礎講習

対象・主催等	受講者数	修了者数
穴吹リハビリテーションカレッジ	30	30
香川県サッカー協会	21	21
香川県歯科医師会	53	53
上高野地区社会福祉協議会	9	9
四国医療専門学校(2回)	48	48
高松赤十字病院	24	24
支部教室(7回)	250	247
その他(8回、救急法救急員養成講習会等含む)	424	422
計22回	859	854



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
浅野校区自主防災会 (7)	280	観音寺市赤十字奉仕団大野原分団 (地域防災セミナー)	32	高松市立香西小学校	30
綾川町立昭和小学校	25	観音寺市女性地域活動隊	200	高松市立香東中学校	50
一ノ谷スポーツクラブ	30	観音寺市立大野原中学校	77	高松市立香南中学校 (2)	74
一般社団法人 香川県交通安全協会	120	観音寺市立観音寺中学校 (2)	85	高松市立国分寺中学校 (3)	231
一般財団法人 香川県森林林業協会	6	観音寺市立東部中学校 (2)	144	高松市立国分寺北部小学校	40
宇多津町自治会連合会 (8)	200	栗熊地区自主防災会 (8)	120	高松市立紫雲中学校	45
宇多津町ボランティア連絡協議会	40	栗熊コミュニティ (2)	40	高松市立塩江中学校	11
宇多津町立宇多津中学校 (2)	140	国分寺北部校区コミュニティ協議会 (6)	390	高松市立新番丁小学校	40
英明高等学校 (3)	568	ことでんバス (株)	20	高松市立十河小学校 (3)	205
榎の木フェスタ実行委員会	200	琴平町母子愛育会 (2)	40	高松市立高松第一中学校 (2)	80
大手前丸亀中学・高等学校 (3)	144	琴平町立琴平中学校	56	高松市立鶴尾小学校	20
香川県キャンプ協会	8	琴平婦人会	25	高松市立立生山小学校	30
香川県教育委員会高校教育課	12	(株)坂出グランドホテル	15	高松市立古高松小学校	23
香川県教育委員会健康福利課	12	坂出市金山分団 (赤十字地域防災セミナー)	30	高松市立古高松中学校 (3)	205
香川県教育センター	53	坂出市立金山小学校 (2)	40	高松市立前田小学校	23
香川県警察本部警務部	36	坂出市立東部中学校	26	高松市立牟礼中学校 (2)	126
香川県交通安全協会	80	坂出市立西庄小学校	15	高松市立屋島小学校	20
(公財)かがわ健康福祉機構	16	坂出市立林田小学校	30	高松市立屋島中学校	22
香川県自然観覧会	25	桜町マンション防災会 (2)	26	高松市立栗林小学校	50
香川県指定自動車学校協会 (2)	92	さぬき市大川地区地域いきネット連絡会 (赤十字地域防災セミナー)	50	高松赤十字病院 (2)	24
香川県柔道連盟	60	さぬき市下名自治会	13	高松第一学園	60
香川県水難救済会 四海救難所	20	さぬき市赤十字奉仕団 (2)	74	高松日清食品 (株) (3)	46
香川県 B & G 財団連絡協議会	25	さぬき市長尾地区自主防災会 (7)	105	高松南警察署 (3)	60
香川県藤井高等学校	50	さぬき市立志度中学校 (2)	115	父母ヶ浜ポート事務局	6
香川県ふじみ園	25	さぬき市連合自治会造田支会 (6)	90	中国四国管区警察局四国警察支局	20
香川県防災士会坂出宇多津支部 (2)	31	四国工商 (株) (3)	90	デイスサービス翔鶴	20
香川県立高松桜井高等学校 (3)	310	四国鉄道 OB 会めろんどくらぶ	14	東讃里山ボランティアガイド	30
香川県立石田高等学校 (2)	96	四国電力送配電 (株)	91	特定非営利活動法人どんぐりネットワーク	20
香川県立香川中央高等学校	60	志度地区民生委員児童委員協議会	40	特定非営利活動法人高松ストーマケア・創傷ケア検討会	80
香川県立香川中部養護学校	50	シニア向け賃貸住宅翔鶴	30	特別養護老人ホーム一宮の里	20
香川県立香川東部支援学校	40	世界救急法の日記念イベント	137	特別養護老人ホーム さんさん荘	25
香川県立笠田高等学校	138	四菱テック (株) (2)	72	土庄町大部地区協議会 (赤十字地域防災セミナー)	50
香川県立観音寺第一高等学校 (3)	218	社会福祉法人高松市社会福祉協議会	13	土庄町立土庄中学校	35
香川県立琴平高等学校 (2)	204	尽誠学園高等学校 (2)	141	直島町子ども会育成連絡協議会	47
香川県立坂出高等学校	60	社会福祉法人 瑞祥会 すずかけの径	12	直島町宮ノ浦地区	36
香川県立坂出商業高等学校	174	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	45	直島町本村自治会	23
香川県立視覚支援学校 (2)	42	赤十字奉仕団香川県支部委員会 (4)	20	直島町立直島小学校	8
香川県立斯道学園	20	せとうち観光専門職短期大学	16	直島町立直島中学校	65
香川県立志度高等学校 (3)	170	普通寺市教育委員会生涯学習課 (5)	115	西植田地区	100
香川県立小豆島中央高等学校	60	普通寺市中央公民館	50	日本赤十字社香川県支部 (指導員資格継続) (2)	45
香川県立小豆島みんなの支援学校	24	普通寺市中央地区自主防災会	40	二番丁コミュニティ (4)	400
香川県立普通寺支援学校	90	普通寺市保健福祉部社会福祉課	155	親子 de 楽しむ救急法	110
香川県立普通寺第一高等学校 (3)	235	高島 (株)	5	日本赤十字社香川県支部 (3)	96
香川県立観音寺総合高等学校 (3)	246	高松市医師会	130	関東大震災 防災の日イベント	45
香川県立高瀬高等学校	96	高松市香南放課後児童クラブ	54	(株)ハッピーライフ愛デイスサービスセンター綾川	30
香川県立高松北中学校・高等学校 (2)	163	(公財)高松スポーツ協会 (TASS 認定指導者講習)	22	花園地区自主防災連絡会	50
香川県立高松工芸高等学校	50	高松市赤十字奉仕団太田南分団 (2)	40	ハムフェスティバル in 香川	50
香川県立高松高等学校 (3)	115	高松市赤十字奉仕団香川分団浅野地区	25	東かがわ市地区 (地域防災セミナー)	40
香川県立高松支援学校	100	高松市赤十字奉仕団二番丁分団	36	東かがわ市立白鳥中学校	54
香川県立高松商業高等学校	50	高松市赤十字奉仕団栗林分団	30	比地地区自主防災会 (7)	250
香川県立高松南高等学校	50	高松市立協和中学校 (4)	240	フジグラン丸亀店	70
香川県立多度津高等学校 (2)	178	高松市東植田小学校	15	仏生山国際交流会	150
香川県立聴覚支援学校	40	高松市牟礼南小学校	15	防災とボランティアのつどい	400
香川県立津田高等学校	79	高松市立浅野小学校	22	丸亀市教育委員会学校教育課	30
香川県立飯山高等学校	25	高松市立庵治中学校	80	丸亀市健康福祉部健康課	25
香川県立丸亀高等学校 (3)	352	高松市立一宮小学校	40	丸亀市飯山南 (法の郷婦人会)	26
香川県立丸亀城西高等学校 (6)	230	高松市立一宮中学校	27	丸亀市立郡家小学校	40
香川県立丸亀養護学校 (2)	120	高松市立植田小学校 (3)	134	丸亀市立城北小学校	23
香川県レクリエーション協会	5	高松市立太田小学校	40	丸亀市立垂水小学校	20
香川県誠陵中学校	53	高松市立太田中学校 (2)	210	丸亀市立飯山中学校 (3)	150
かがわ総合リハビリテーション福祉センター	18	高松市立太田南小学校	55	丸亀市立東中学校 (2)	210
香川大学教育学部附属高松小学校	30	高松市立大野小学校	30	丸亀市立南中学校 (2)	250
香川大学教育学部附属高松中学校	24	高松市立香川第一中学校 (2)	176	丸亀しわく山の会	20
香川大学教育学部附属特別支援学校	60	高松市立勝賀中学校	40	まんのう町高篠公民館 (地域防災セミナー)	50
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	173	高松市立竜岡小学校	30	まんのう町高篠公民館 (親子防災講座)	80
香川大学大学教育基盤センター	200	高松市立川岡小学校	20	まんのう町吉野体育館 (地域防災セミナー)	70
学童クラブゆうか	35	高松市立川島小学校	85	まんのう町立満濃南小学校	50
(株)トーカイ (2)	50	高松市立川添小学校	30	三豊市立仁尾小学校	30
川崎重工業 (株) 坂出造船工場	12	高松市立木太小学校	30	三豊市立仁尾中学校	43
川西地区自主防災会 (8)	200	高松市立木太中学校 (3)	313	村上製作所長尾工場	16
観音寺市社会福祉協議会 (地域防災セミナー)	50	高松市立協和中学校	55	計 347 回	17,084

水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

●救助員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
香川県消防学校 消防学生 及び 支部主催教室 7月コース (プール)	29	27
支部主催教室 11月コース (プール)	9	9
支部主催教室 津田の松原 (海)	6	6
計3回	44	42



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
綾川町立陶小学校 (3回)	140	善通寺市立与北小学校 (2回)	26
綾川町立滝宮小学校 (3回)	199	高松市弦打コミュニティセンター	50
綾川町立羽床小学校 (2回)	67	高松市立亀岡小学校 (2回)	100
香川県教育委員会保健体育課	116	高松市立鬼無小学校 (3回)	119
香川県水泳協会	20	高松市立多肥小学校	33
香川県立西部支援学校	70	高松市立鶴尾小学校	49
公益社団法人高松市スポーツ協会 (5回)	40	高松市立東植田小学校	15
琴平町立榎井小学校 (2回)	68	直島町立直島小学校	36
坂出市立林田小学校 (3回)	165	高松市立牟礼小学校区子ども会育成連絡協議会	35
さぬき市立さぬき北小学校 (3回)	102	丸亀市立東中学校 (3回)	222
日本赤十字社香川県支部 (2回)	28	三豊市立仁尾小学校 (2回)	79
善通寺市立中央小学校	24		
善通寺市立東部小学校 (2回)	98	計47回	1,901



健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

●支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
尽誠学園高等学校衛生看護科2年生	32	32
支部教室(2回)	24	22
計3回	56	54



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
綾川町・宇多津町赤十字奉仕団(赤十字地域防災セミナー)(2回)	100	高松市赤十字奉仕団東部ブロック	18
綾川町赤十字奉仕団粉所分団	26	高松市赤十字奉仕団西植田分団(2回)	60
綾川町赤十字奉仕団滝宮分団	26	高松市赤十字奉仕団古高松分団	27
いきいきサロンさくら	10	高松市赤十字奉仕団南ブロック	27
NPO法人三谷地区コミュニティ協議会	40	高松市赤十字奉仕団牟礼分団	18
大野原中央公民館	20	高松市赤十字奉仕団山田ブロック	21
香川県立小豆島みんなの支援学校	20	多度津町地区福祉保健推進員会	16
香川大学教育学部付属特別支援学校	66	弦打地区保健委員会	18
学校法人らく楽学園らく楽児童クラブ	10	豊島公民館	23
観音寺市赤十字奉仕団豊浜分団	106	東讃地区生活研究グループ連絡協議会	34
坂出市大屋富町自主防災会	25	特別養護老人ホーム さんさん荘	25
坂出市食生活推進協議会	69	土庄町赤十字奉仕団	24
坂出西部婦人会	20	土庄町赤十字奉仕団小江分団(2回)	32
坂出市赤十字奉仕団(3回)	83	直島町役場住民福祉課	12
さぬき市赤十字奉仕団津田分団	45	日本赤十字社香川県支部(こころのケア研修)	26
さぬき市長寿介護課	18	日本赤十字社香川県支部(指導員資格継続)	10
さぬき市津田地区老人クラブ連合会	33	農業経営高等学校(3回)	39
さぬき市老人クラブ連合会	190	NOSAI香川高松女性の会	14
寒川地区いきいきネット連合会	19	東かがわ市浜町自治会	18
小豆郡養護教諭研修会	10	平畑ふれあいサロン会	14
小豆島町赤十字奉仕団	49	福祉健康部会いきいき倶楽部(栗林町)	10
小豆島町赤十字奉仕団草壁分団	42	まんのう町赤十字奉仕団神野分団(赤十字地域防災セミナー)	35
赤十字奉仕団香川県支部委員会(8回)	40	まんのう町赤十字奉仕団四條分団	32
善通寺市赤十字奉仕団竜川分団	45	若く行こう会(2回)	40
高松市赤十字奉仕団太田南分団	30	リラクゼーション研修会(教室)(2回)	43
高松市赤十字奉仕団中央第1ブロック	48		
高松市赤十字奉仕団中央第1、第2ブロック	50	計69回	1,876



赤十字幼児安全法

子どもを社会の財産として大切に育てるために、「子どもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

●支援員養成講習

対象・主催等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ子ども保育学科2年生	22	21
支部教室(2回)	24	24
計3回	46	45



●短期講習

対象・主催等	受講者数	対象・主催等	受講者数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	24	社会福祉法人高室福祉会 高室保育園	30
綾川町子育て支援センターしいのき	14	社会福祉法人つくし福祉会 西春日保育所(2回)	24
一般社団法人 キッズポート(2回)	34	社会福祉法人つくし福祉会 西春日保育所ピノキオ子育て支援センター	12
NPO法人子育てネットひまわり(2回)	11	塩江こども園	26
NPO法人さぬきっずコムシアター	10	すくすく保育所	10
NPO法人さぬきっずコムシアター コムコムひろば・あやうた	8	赤十字奉仕団香川県支部委員会(4回)	20
NPO法人すくすく	10	普通寺市赤十字奉仕団竜川分団	66
NPO法人わははネット	94	高松市立一宮幼稚園	10
NPO法人わははネット わはは・ひろば香西(2回)	12	高松市赤十字奉仕団太田南分団	30
NPO法人わははネット わはは・ひろば高松(2回)	13	たかまつファミリー・サポート・センター(6回)	81
香川県教育センター	44	つくし幼稚園	15
香川県健康福祉部子ども政策推進局子ども政策課(3回)	147	直島町役場住民福祉課(2回)	22
香川県私立幼稚園連盟	41	二番丁幼稚園	6
香川短期大学子ども学科(2回)	45	東かがわ市保健課健康づくりグループ	9
春日こども園	50	ファミリー・サポート・センターうたづ(2回)	18
株式会社マミーズファミリー(2回)	31	丸亀市ファミリー・サポート・センター(3回)	30
観音寺ファミリー・サポート・センター(4回)	41	丸亀市立飯山地域子育て支援センター	7
こぶし今里保育園子育て支援センターおひさまひろば(2回)	15	みいろ	2
こぶし中央保育園	20	みとよファミリー・サポート・センター(2回)	21
さぬき市ファミリー・サポート・センター(3回)	28	わくわく保育所	10
社会福祉法人イエス団 神愛会(4回)	51	計72回	1,192



赤十字健康生活支援講習指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実動的な実践的な指導員を養成し、本県における健康生活支援講習の普及、並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時 / 令和5年12月16日(土) ~ 17日(日) 説明会・事前研修会
- 令和6年 1月 6日(土) ~ 8日(月・祝) 養成講習会
- 1月13日(土) ~ 14日(日) //
- 令和6年 2月17日(土) ~ 18日(日) 事後研修会
- 場 所 / 日本赤十字社香川県支部 ボランティア室等
- 養成人員 / 9人





赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

●組織及び団員数 17団（8市9町） 7,107人

区分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	7	9	3	15	10	7	8	10	3	41	154分団
団員数	985	225	843	67	377	232	342	285	794	87	2,870	7,107人

●主な活動内容

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| ① 会員増強に関する活動 | ⑤ 献血推進に関する活動 |
| ② 災害救護に関する活動 | ⑥ 青少年赤十字の加盟促進、
育成に関する活動 |
| ③ 救急法、健康生活支援講習
等の講習普及に関する活動 | ⑦ 社会福祉に関する活動 |
| ④ 赤十字病院における活動 | ⑧ その他 |



●研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	赤十字奉仕団中央委員会	6月 1日(木)～ 2日(金)	東京都・日赤本社	支部委員会委員長	1
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	2月 6日(火)～ 8日(木)	東京都・日赤本社	地域・青年奉仕団員	1
ブロック	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	11月14日(火)～15日(水)	日赤岡山県支部	中国・四国各県奉仕団員(善通寺市、小豆郡)	2
	赤十字奉仕団県支部委員会	5月17日(水)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	13
支部	赤十字奉仕団委員長会議	6月 8日(木)	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長、副委員長等・地区区分担当者	55
	世界救急法の日記念イベント	9月 9日(土)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員等	137
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月13日(水)	日赤香川県支部	支部委員・支部職員	13
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	11月 6日(月)～ 7日(火)	じゃこ丸パーク津田	各地区・分区奉仕団員	31
	NHK海外たすけあい街頭募金	12月 2日(土)	高松市内	高松市赤十字奉仕団員	35
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月 8日(木)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区奉仕団員	133

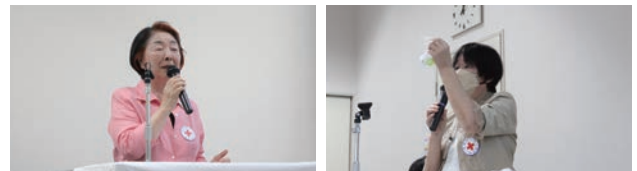
●研修会等の開催

○委員長会議の開催

- 日 時／令和5年6月8日(木) 9:30～14:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- 参 加 者／各市町奉仕団委員長、副委員長、
地区・分区担当者 55人
- 内 容／赤十字奉仕団活動報告、
モデル奉仕団活動報告等

○赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会

- 日 時／令和5年11月6日(月)～11月7日(火)
- 場 所／じゃこ丸パーク津田
- 参 加 者／県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び
将来リーダーとなる者 31人
- 研修内容／赤十字と赤十字事業、災害時の取り組み、
赤十字講習体験
各奉仕団の活動状況の情報交換、
気象庁ワークショップ



○赤十字奉仕団基礎研修会

- 日 時／令和6年2月8日(木) 10:00～15:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター7階大会議室
- 参加予定者／各市町赤十字奉仕団員等 133人
- 研修内容／講義 「赤十字の使命と活動」映写「赤十字この1年 令和4年度」
報告 「能登半島地震における救護活動」
講演 「歌って笑ってリラックス 音楽はこころのビタミン剤♪」
講師 音楽療法士 野方國枝氏



<研修内容>

- 赤十字とボランティア
- 赤十字と災害救護
- 赤十字防災ボランティア
- 非常食の炊き出し
- 避難所生活支援
- 応急手当等

○地区・分區別赤十字奉仕団研修会

赤十字奉仕団員としての知識を深め、奉仕団活動の一層の進展を図ることを目的に次のとおり研修会を実施しました。

また、災害時に備え、地域の中で赤十字防災ボランティアへの理解を深めるとともに、防災活動の浸透を図る研修も実施しました。

●モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年3団を指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定期 間／3年間
- 指定奉仕団数／毎年3団以内
- 重点活動内容／①地域高齢者支援活動 ②児童の健全育成活動
 - ③非常災害に対する地域防災活動
 - ④会員増強に関する特色ある活動
 - ⑤その他必要な活動



指定年度	奉仕団名	活動内容
令和3年度	坂出市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	直島町赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動 会員増強に関する特色ある活動
令和4年度	善通寺市赤十字奉仕団	地域高齢者支援活動（地域包括ケア）、非常災害に対する地域防災活動、児童の健全育成活動
令和5年度	観音寺市赤十字奉仕団 豊浜分団	地域高齢者支援活動（地域包括ケア）、非常災害に対する地域防災活動、児童の健全育成活動、会員増強に関する特色ある活動、その他の活動
	高松市赤十字奉仕団 多肥分団	非常災害に対する地域防災活動 児童の健全育成活動

青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

●組織及び団員数 9団 108人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団

●主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事（各種イベント等）への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加



●研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	赤十字ユース委員会	5月20日(土)～21日(日)	東京都・日赤本社	ユース委員	1
	赤十字ボランティア・リーダー研修会	8月26日(土)～28日(月)	東京都・国立オリンピック記念センター	ユース委員	1
	赤十字ユース委員会	2月23日(金・祝)	東京都・日赤本社	ユース委員	1
ブロック	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月25日(日)	鳥取県	中国・四国各県学生・青年赤十字奉仕団メンバー	2
	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9月23日(土・祝)～24日(日)	広島県	中国・四国各県学生・青年赤十字奉仕団	1
支部・協議会	県連総会	4月15日(土)	支部ボランティア室	学生・青年赤十字奉仕団	16
	赤十字フェスタ	4月29日(土・祝)	高松丸亀町番街前ドーム広場	学生・青年赤十字奉仕団	32
	防災ボランティア基礎研修会	6月10日(土)	香川県社会福祉総合センター	防災ボランティア他	3
	1日血液センター所長イベント	7月2日(日)	献血ルーム他	学生・青年赤十字奉仕団	15
	血液センター親子見学教室	7月22日(土)～24日(月)・30日(日)	血液センター	学生・青年赤十字奉仕団	10
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日(金)～6日(日)	五色台少年自然センター	学生・青年赤十字奉仕団	5
	サマー献血キャンペーン	8月13日(日)	献血ルーム他	学生・青年赤十字奉仕団	10
	香川県総合防災訓練	9月3日(日)	さぬき市	防災ボランティア他	3
	防災キャンプin南川	9月23日(土・祝)～24日(日)	さぬき市南川自然の家	学生・青年赤十字奉仕団	3
	NHK 海外たすけあい街頭募金	12月2日(土)	高松市内	学生・青年赤十字奉仕団	40
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月16日(土)	イオンモール綾川	学生・青年赤十字奉仕団	20
	防災ボランティア実践研修会	1月20日(土)	香川県青年センター	学生・青年赤十字奉仕団	5
	防災とボランティアのつどい	3月9日(土)	さぬきこどもの国	学生・青年赤十字奉仕団	5



特殊奉仕団

●香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人々によって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 32人
- ②主な活動内容
 - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
 - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加
 - 香川県総合防災訓練参加



●香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1団 146人
- ②主な活動内容
 - 救急法等講習普及活動
 - 支部実施行事(各種イベント等)への協力
 - 団員研修・交流



○赤十字安全奉仕団一泊研修会(防災キャンプ2023)の開催

- 日 時/令和5年9月23日(土・祝)～24日(日)
- 場 所/さぬき市南川自然の家
- 内 容/
 - ・ 赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
 - ・ 発電機取扱・ロープワークの習得
 - ・ 作って食べよう(サバイバル飯・竹から作る流しそうめん)
 - ・ 自然を探そう



○赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時／令和5年12月16日(土)
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階 第一中会議室
- 内 容／気象庁ワークショップ 経験したことのない大雨その時どうする
- 参 加 者／34人



●香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 43人
- ②主な活動内容
 - 施設へのケアサービスの提供
 - 団員研修会の開催
 - 団員の増強とケアサービスの普及、充実
 - 支部実施行事（各種イベント等）への協力



●香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 83人
- ②主な活動内容
 - 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
 - 青少年赤十字加盟校への協力
 - 香川県教育委員会への働きかけ
 - 校長会・園長会等への働きかけ
 - 地域赤十字奉仕団との連携



●香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しております。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

- ①組織及び団員数 1団 19人
- ②主な活動内容
 - 支部実施行事（各種イベント等）への協力
 - 団員研修・交流





青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万4千校、345万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。

●加盟状況

区分	保育所	幼稚園	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	39	97	52	151	69	43	10	461
メンバー数	3,111	6,009	5,545	36,450	20,449	17,046	697	89,307



●加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	17	高松市立鬼無保育所	27	坂出市立江尻保育所	51
高松市立扇町保育所	100	高松市立三谷保育所	114	坂出市立西部保育所	20
高松市立宮脇保育所	33	高松市立多肥保育所	143	坂出市立南部保育所	116
高松市立松島保育所	106	高松市立西植田保育所	38	坂出市立加茂保育所	65
高松市立福岡保育所	37	高松市立東植田保育所	21	育愛館	116
高松市立桜町保育所	146	高松市立大野保育所	179	豊城福祉会坂出保育園	72
高松市立田村保育所	36	高松市立川東南保育所	22	林田保育園	84
高松市立鶴尾保育所	19	高松市立国分寺北部保育所	70	みどり保育園	96
高松市立太田保育所	123	高松市立国分寺南部保育所	95	愛集苑保育所	17
高松市立木太保育所	134	高松市立牟礼保育所	105	※ 高室福祉会高室保育園	127
高松市立古高松保育所	140	高松市立田井保育所	11	さぬき市立長尾保育所	70
高松市立下笠居東部保育所	29	松福福祉会城東保育園	73		
高松市立香西保育所	182	こぶし花園保育園	94		
高松市立弦打保育所	76	※ こぶし中央保育園	107		
				計 39	3,111

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	29	らく楽寺井幼稚園	193	三豊市立勝間幼稚園	24
高松市立前田幼稚園	14	国東学園くにとう幼稚園	322	三豊市立麻幼稚園	12
高松市立川添幼稚園	24	まゆみ学園まゆみ幼稚園	92	三豊市立山本幼稚園	110
高松市立三溪幼稚園	28	丸亀市立西幼稚園	29	三豊市立吉津幼稚園	42
高松市立香西幼稚園	36	丸亀市立城坤幼稚園	50	三豊市立下高瀬幼稚園	28
高松市立一宮幼稚園	19	丸亀市立城東幼稚園	44	三豊市立大見幼稚園	37
高松市立多肥幼稚園	34	丸亀市立城辰幼稚園	36	三豊市立豊中幼稚園	219
高松市立川岡幼稚園	15	聖母学園丸亀聖母幼稚園	82	三豊市立詫間幼稚園	46
高松市立円座幼稚園	27	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	226	三豊市立松崎幼稚園	11
高松市立檀紙幼稚園	27	香川大学教育学部附属幼稚園	71	三豊市立善保幼稚園	4
高松市立弦打幼稚園	14	坂出市立坂出中央幼稚園	23	小豆島町立星城幼稚園	18
高松市立鬼無幼稚園	12	坂出市立林田幼稚園	25	小豆島町立安田幼稚園	11
高松市立木太幼稚園	47	坂出市立加茂幼稚園	4	小豆島町立苗羽幼稚園	8
高松市立春日幼稚園	6	坂出一高幼稚園	117	小豆島町立福田幼稚園	2
高松市立木太北部幼稚園	17	善通寺市立中央幼稚園	39	小豆島町立小豆島こどもセンター（小豆島町立池田幼稚園）	95
高松市立栗山幼稚園	28	善通寺市立西部幼稚園	33	三木町立ししの子幼稚園	93
高松市立大町幼稚園	7	善通寺市立南部幼稚園	38	三木町立田中幼稚園	16
高松市立大野幼稚園	23	善通寺市立東部幼稚園	65	三木町立氷上幼稚園	40
高松市立国分寺北部幼稚園	53	善通寺市立北幼稚園	7	三木町立白山幼稚園	25
高松市立国分寺南部幼稚園	50	善通寺市立竜川幼稚園	144	三木学園おおぼ幼稚園	180
高松中央高校幼稚園	59	善通寺市立筆岡幼稚園	49	宇多津町立宇多津幼稚園	42
ときわ幼稚園	93	善通寺市立吉原幼稚園	35	青山幼稚園	101
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	172	聖母学園善通寺聖母幼稚園	56	多度津町立四箇幼稚園	39
高松聖ヤコブ幼稚園	77	観音寺市立観音寺中央幼稚園	131	多度津町立豊原幼稚園	59
のぞみ幼稚園	67	観音寺市立豊浜幼稚園	78	多度津町立多度津幼稚園	31
栗林学園栗林幼稚園	233	聖母学園観音寺聖母幼稚園	68		
二番丁学園二番丁幼稚園	138	さぬき市立さぬき南幼稚園	44	計 97	6,009
高松学園高松幼稚園	148	さぬき市立志度幼稚園	35		
屋島教会学園屋島教会幼稚園	60	さぬき市立さぬき北幼稚園	2		
聖母学園高松聖母幼稚園	85	さぬき市立寒川幼稚園	19		
聖母学園桜町聖母幼稚園	111	さぬき市立長尾幼稚園	16		
相愛学園相愛幼稚園	190	さぬき市立造田幼稚園	28		
小山学園愛育幼稚園	31	聖母学園長尾聖母幼稚園	18		
青空幼稚園	144	三豊市立二ノ宮幼稚園	9		
百華学園太田百華幼稚園	140	三豊市立比地二幼稚園	37		
光華学園光華幼稚園	146	三豊市立上高瀬幼稚園	47		



学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
高松市林こども園	225	花ノ宮こども園	101	三豊市立仁尾こども園	109
高松市下笠居こども園	54	認定こども園すまいる	181	土庄町立土庄こども園	148
高松市川島こども園	184	丸亀市立郡家こども園	137	土庄町立大鐸こども園	30
高松市屋島こども園	110	丸亀市立あやうたこども園	53	土庄町立大部こども園	6
高松市庵治こども園	53	丸亀市立飯山こども園	116	土庄町立北浦こども園	27
高松市塩江こども園	36	坂出市立府中こども園	52	土庄町立四海こども園	34
高松市はらこども園	128	坂出市立川津こども園	102	直島町立直島幼児学園(認定こども園)	81
高松市浅野こども園	129	坂出市立松山こども園	79	認定こども園香川短期大学附属幼稚園	191
高松市川東こども園	98	ルンビニ幼稚園	134	まんのう町立高篠こども園	35
高松市香南こども園	180	きんかこども園	143	まんのう町立四条こども園	66
四国高松学園高松東幼稚園(認定こども園)	118	香川短期大学附属のぞみこども園	26	まんのう町立満濃南こども園	163
香川県百華学園 勅使百華幼稚園	177	観音寺市立観音寺こども園	359	まんのう町立長炭こども園	37
亀阜学園亀阜幼稚園(認定こども園)	51	観音寺市立大野原こども園	264	まんのう町立仲南こども園	53
新田学園新田幼稚園(認定こども園)	135	さぬき市立津田こども園	96	まんのう町立琴南こども園	38
認定こども園やしま幼稚園	200	社会福祉法人長尾福祉会認定こども園長尾学舎	89	琴平町立南こども園	62
認定こども園つくし幼稚園	68	東かがわ市立引田こども園	79	琴平町立北こども園	63
認定こども園サンシャインこどもの森	147	東かがわ市立大内こども園	100		
認定こども園 中野保育所	153	東かがわ市丹生こども園	45		
				計 52	5,545

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	617	丸亀市立富熊小学校	200	三豊市立松崎小学校	100
高松市立新番丁小学校	767	丸亀市立栗熊小学校	127	三豊市立仁尾小学校	196
高松市立亀阜小学校	500	丸亀市立岡田小学校	10	三豊市立菅保小学校	10
高松市立栗林小学校	24	丸亀市立飯山北小学校	551	三豊市立財田小学校	132
高松市立花園小学校	227	丸亀市立飯山南小学校	288	土庄町立土庄小学校	474
高松市立高松第一小学校	12	香川大学教育学部附属坂出小学校	415	土庄町立豊島小学校	17
高松市立鶴尾小学校	22	坂出市立坂出小学校	566	小豆島町立星城小学校	135
高松市立太田小学校	743	坂出市立東部小学校	12	小豆島町立安田小学校	121
高松市立木太小学校	426	坂出市立金山小学校	123	小豆島町立苗羽小学校	95
高松市立古高松小学校	464	坂出市立西庄小学校	27	小豆島町立池田小学校	23
高松市立屋島小学校	323	坂出市立林田小学校	321	三木町立平井小学校	584
高松市立前田小学校	18	坂出市立加茂小学校	197	三木町立田中小学校	100
高松市立川添小学校	519	坂出市立府中小学校	104	三木町立氷上小学校	537
高松市立林小学校	20	坂出市立川津小学校	8	三木町立白山小学校	265
高松市立三溪小学校	517	坂出市立松山小学校	148	直島町立直島小学校	7
高松市立仏生山小学校	548	善通寺市立東部小学校	263	宇多津町立宇多津小学校	439
高松市立香西小学校	443	善通寺市立中央小学校	167	宇多津町立宇多津北小学校	501
高松市立一宮小学校	664	善通寺市立西部小学校	127	綾川町立綾上小学校	6
高松市立多肥小学校	17	善通寺市立南部小学校	164	綾川町立昭和小学校	236
高松市立川岡小学校	44	善通寺市立与北小学校	26	綾川町立陶小学校	95
高松市立円座小学校	745	善通寺市立竜川小学校	396	綾川町立高宮小学校	6
高松市立檀紙小学校	600	善通寺市立筆岡小学校	220	綾川町立羽床小学校	24
高松市立弦打小学校	508	善通寺市立吉原小学校	123	まんのう町立琴南小学校	46
高松市立鬼無小学校	8	観音寺市立観音寺小学校	536	まんのう町立高篠小学校	147
高松市立下笠居小学校	220	観音寺市立伊吹小学校	5	まんのう町立四条小学校	214
高松市立男木小学校	7	観音寺市立高室小学校	128	まんのう町立満濃南小学校	201
高松市立川島小学校	447	観音寺市立常磐小学校	331	まんのう町立長炭小学校	105
高松市立十河小学校	85	観音寺市立豊田小学校	148	まんのう町立仲南小学校	173
高松市立東植田小学校	25	観音寺市立栗井小学校	68	琴平町立琴平小学校	114
高松市立植田小学校	21	観音寺市立柞田小学校	436	琴平町立榎井小学校	68
高松市立中央小学校	875	観音寺市立一ノ谷小学校	240	琴平町立象郷小学校	104
高松市立太田南小学校	920	観音寺市立大野原小学校	535	多度津町立四箇小学校	299
高松市立木太南小学校	212	観音寺市立豊浜小学校	325	多度津町立白方小学校	54
高松市立古高松南小学校	733	さぬき市立津田小学校	162	多度津町立豊原小学校	422
高松市立屋島東小学校	21	さぬき市立さぬき南小学校	358	多度津町立多度津小学校	251
高松市立屋島西小学校	313	さぬき市立志度小学校	7		
高松市立木太北部小学校	383	さぬき市立さぬき北小学校	186		
高松市立塩江小学校	46	さぬき市立寒川小学校	216		
高松市立庵治小学校	138	さぬき市立長尾小学校	395		
高松市立牟礼小学校	270	さぬき市立造田小学校	172		
高松市立牟礼北小学校	426	東かがわ市立引田小学校	207		
高松市立牟礼南小学校	171	東かがわ市立白鳥小学校	300		
高松市立大野小学校	17	東かがわ市立大内小学校	486		
高松市立浅野小学校	14	三豊市立二ノ宮小学校	69		
高松市立川東小学校	18	三豊市立比地小学校	149		
高松市立香南小学校	6	三豊市立上高瀬小学校	223		
高松市立国分寺北部小学校	17	三豊市立勝間小学校	178		
高松市立国分寺南部小学校	213	三豊市立麻小学校	104		
丸亀市立城坤小学校	38	三豊市立山本小学校	288		
丸亀市立城北小学校	8	三豊市立吉津小学校	148		
丸亀市立城西小学校	540	三豊市立下高瀬小学校	185		
丸亀市立城南小学校	617	三豊市立大見小学校	133		
丸亀市立城東小学校	576	三豊市立桑山小学校	99		
丸亀市立城辰小学校	298	三豊市立笠田小学校	112		
丸亀市立本島小学校	4	三豊市立本山小学校	139		
丸亀市立郡家小学校	749	三豊市立上高野小学校	100		
丸亀市立飯野小学校	312	三豊市立比地大小小学校	121		
丸亀市立垂水小学校	318	三豊市立詫間小学校	447		
				計 151	36,450



学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川大学教育学部附属高松中学校	314	丸亀市立東中学校	644	三豊市立高瀬中学校	340
香川県立高松北中学校	295	丸亀市立西中学校	812	三豊市立三野津中学校	236
高松市立桜町中学校	784	丸亀市立南中学校	747	三豊市立豊中中学校	242
高松市立紫雲中学校	619	丸亀市立本島中学校	3	三豊市立説間中学校	274
高松市立玉藻中学校	511	丸亀市立綾歌中学校	271	三豊市立仁尾中学校	122
高松市立高松第一中学校	309	丸亀市立飯山中学校	453	三豊市立和光中学校	95
高松市立屋島中学校	374	香川大学教育学部附属坂出中学校	5	三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校	359
高松市立協和中学校	249	坂出市立坂出中学校	10	土庄町立土庄中学校	252
高松市立龍雲中学校	29	坂出市立東部中学校	11	土庄町立豊島中学校	16
高松市立勝賀中学校	661	坂出市立白峰中学校	417	小豆島町立小豆島中学校	262
高松市立一宮中学校	338	坂出市立瀬居中学校	2	三木町立三木中学校	10
高松市立香東中学校	61	善通寺市立西中学校	307	直島町立直島中学校	65
高松市立下笠居中学校	87	善通寺市立東中学校	403	宇多津町立宇多津中学校	462
高松市立男木中学校	2	観音寺市立観音寺中学校	286	綾川町立綾川中学校	548
高松市立山田中学校	536	観音寺市立中部中学校	479	まんのう町立満濃中学校	478
高松市立太田中学校	629	観音寺市立伊吹中学校	4	琴平町立琴平中学校	31
高松市立古高松中学校	362	観音寺市立大野原中学校	258	多度津町立多度津中学校	513
高松市立木太中学校	750	観音寺市立豊浜中学校	173	大手前高松中学校	178
高松市立堀江中学校	36	さぬき市立さぬき南中学校	358	香川誠陵中学校	174
高松市立庵治中学校	61	さぬき市立志度中学校	351	大手前丸亀中学校	282
高松市立牟礼中学校	393	さぬき市立長尾中学校	300	香川県藤井中学校	247
高松市立香川第一中学校	168	東かがわ市立引田中学校	114		
高松市立香南中学校	184	東かがわ市立白鳥中学校	172		
高松市立国分寺中学校	673	東かがわ市立大川中学校	258		
				計 69	20,449

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
香川県立小豆島中央高等学校	436	香川県立農業経営高等学校	280	藤井学園寒川高等学校	461
香川県立三本松高等学校	43	香川県立坂出商業高等学校	470	高松中央高等学校	938
香川県立津田高等学校	250	香川県立坂出高等学校	740	英明高等学校	488
香川県立志度高等学校	276	香川県立坂出工業高等学校	333	大手前高松高等学校	716
香川県立石田高等学校	281	香川県立飯山高等学校	35	香川誠陵高等学校	367
香川県立三木高等学校	473	香川県立丸亀高等学校	28	坂出第一高等学校	316
香川県立高松北高等学校	55	香川県立丸亀城西高等学校	574	大手前丸亀高等学校	270
香川県立高松高等学校	280	香川県立善通寺第一高等学校	544	香川県藤井高等学校	417
香川県立高松工芸高等学校	18	香川県立琴平高等学校	531	村上学園高等学校	183
香川県立高松商業高等学校	907	香川県立多度津高等学校	491	尽誠学園高等学校	4
香川県立高松東高等学校	671	香川県立笠田高等学校	318	四国学院大学香川西高等学校	535
香川県立高松南高等学校	69	香川県立高瀬高等学校	340	RITA 学園高等学校	155
香川県立高松西高等学校	830	香川県立観音寺第一高等学校	668	香川高等専門学校 高松キャンパス	499
香川県立高松桜井高等学校	828	香川県立観音寺総合高等学校	27		
香川県立香川中央高等学校	42	高松市立高松第一高等学校	859		
				計 43	17,046

学校名	メンバー	学校名	メンバー	学校名	メンバー
※ 香川県立小豆島みんなの支援学校	12	香川県立香川中部支援学校	20	香川県立香川西部支援学校	111
香川県立香川東部支援学校	5	香川県立高松支援学校	95	香川大学教育学部附属特別支援学校	58
香川県立視覚支援学校	15	香川県立香川丸亀支援学校	245		
香川県立聴覚支援学校	29	香川県立善通寺支援学校	107		
				計 10	697

●研修行事の開催と参加状況

主催	学校名	月日	場所	参加者(対象)	参加人数
本社	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5月26日(金)～28日(日)	東京都・国立オリンピック記念センター	指導者	2
	全国指導者協議会総会・研修会	6月30日(金)	東京都・日赤本社	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会総会	7月11日(火)～12日(水)	東京都・日赤本社	賛助奉仕団委員長	1
ブロック	指導主事対象研究会	1月12日(金)	東京都・日赤本社	指導主事	1
	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月26(木)～27日(金)	愛媛県	中・四国賛助奉仕団員	2
支部・協議会・賛助	中国・四国ブロック指導者協議会	11月9日(木)～10日(金)	香川県社会福祉総合センター	指導者協議会役員	22
	香川県指導者協議会役員会	4月26日(水)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	10
	香川県賛助奉仕団役員会	4月26日(水)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	7
	赤十字フェスタ(世界赤十字デー周知キャンペーン)	4月29日(土・祝)	高松丸亀町番街前ドーム広場	青少年赤十字メンバー	17
	香川県賛助奉仕団総会	5月13日(土)	日赤香川県支部	賛助奉仕団員	12
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月19日(月)	日赤香川県支部	企画運営委員	5
	リーダーシップ・トレーニング・センター事前研修会	7月10日(月)	日赤香川県支部	指導者	17
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月4日(金)～6日(日)	香川県立五色台少年自然センター	小・中・高メンバー、指導者	93
	香川県指導者研修会	9月19日(火)	香川県社会福祉総合センター	指導者	25
	香川県指導者協議会役員会	10月3日(火)	香川県社会福祉総合センター	指導者協議会役員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	10月3日(火)	日赤香川県支部	賛助奉仕団役員	7
	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会(反省会)	10月20日(金)	日赤香川県支部	指導者	11
	香川県指導者協議会役員会	3月28日(木)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	8
香川県賛助奉仕団役員会	3月28日(木)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	7	



●青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として開催することとしており、令和5年度においては、次のとおり開催しました。

- 日 時／令和5年9月19日(火) 14:00～16:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 6階研修室
- 参 加 者／青少年赤十字加盟校指導者等 25人
- 講演内容／講演「ウクライナ人道危機における国際赤十字の活動」
講師／日本赤十字社 国際部国際救援課 矢田 結氏



●青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

青少年赤十字の組織と活動のリーダーとなる児童・生徒の養成を目的として開催しました。

知識、技術、態度の面から赤十字と青少年赤十字について学習します。

- 日 時／令和5年8月4日(金)～6日(日)
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 参 加 者／小・中・高校生メンバー、指導者 93人
- 内 容／赤十字の歴史、健康安全プログラム、フィールドワーク等



青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

○指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
令和4年度	令和4～5年度	問いをもち、広い視野に立って語り合い、新たな価値を見いだせる 資質・能力の育成 ～子どもが問う なかまづくり～	高松市立亀阜小学校
令和5年度	令和5～6年度	課題をもって、考えて、感動しよう！ 一人・課題と関わることで、感性を磨く授業づくり	三豊市立仁尾小学校

●研究発表会の開催

- 日 時／令和5年8月1日(火)
- 開 催 校／高松市立亀阜小学校
- 参 加 者／教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等 126人





医療事業

高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC(包括医療支払制度)への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」の2台体制、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)、Mitra Clip(経皮的僧帽弁クリップ術)認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和2年4月からは本館北タワーが本格稼働となり、半導体PET-CTやIVR-CT、高度放射線治療機器など高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。

一方で令和2年から5年にかけてパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症への対応では、救急病棟を感染症専用病床として転用し、また、一部重症患者ではICUをコロナ専用病床として活用するなど、多くの患者さんの救命に貢献しています。



●**病床数** 507床(一般病床505床 結核病床2床)

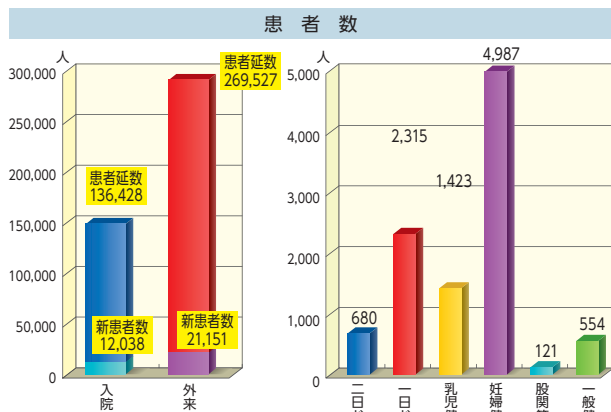
●診療科目

内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、膠原病・リウマチ内科、感染症内科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、脳卒中外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科(臓器移植)、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、放射線科、病理診断科

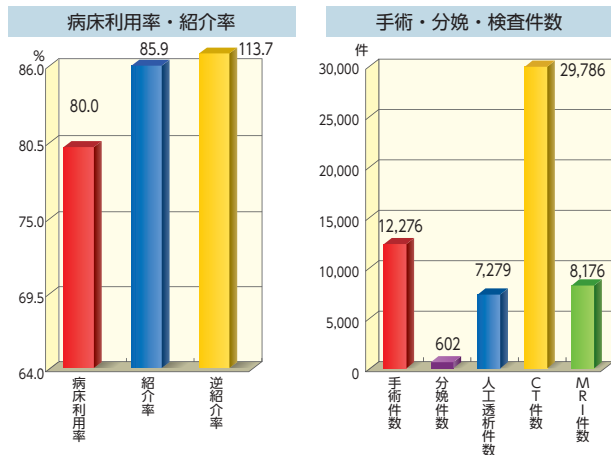
●職員数 (令和6年3月31日現在)

- 医 師 212人
- 医療技師 179人
- 看護師・助産師 586人
- 事務職員 179人
- その他職員 56人

●業務実績 (令和5年度)



一日平均入院患者数	372.8人
一日平均外来患者数	1113.7人
平均在院日数	10.8日



●主な指定、施設基準

- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 急性期一般入院基本料 1
- 総合入院体制加算 2
- 医療安全対策加算 1
- 感染対策向上加算 1
- 特定集中治療室管理料 2
- 新生児特定集中治療室管理料 2
- 医師事務作業補助体制加算 1 15対1
- 急性期看護補助体制加算 25対1
- 無菌治療室管理加算 1

●その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- 「働きたい病院認証」施設
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関
- ISO15189 (臨床検査室)

●医療の質の向上および診療基盤整備

- ①医師の育成と確保
 - 初期、後期臨床研修の指導體制の充実
 - 初期、後期研修医の確保
令和5年度 初期21名、後期6名
 - 医師事務支援体制の充実(医師の外来業務負担軽減)
令和6年3月31日現在、外来クラーク36名
- ②診療科創設
 - 消化器・肝臓内科、膠原病・リウマチ内科
- ③看護師の育成と確保
 - 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実
令和5年度新人看護師41名(助産師3名を含む)

- 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成
令和6年3月31日現在 認定看護師30名、
専門看護師2名
- 特定行為研修修了看護師の配置
令和6年3月31日現在 27名
- 病棟クラーク（看護業務の事務支援スタッフ）の拡充
令和6年3月31日現在 6名
- ④医療スタッフの育成と確保
 - 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
 - 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
 - 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
 - 超音波診療センターの体制整備、機能の拡充
 - 作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語療法士(ST)による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
 - 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
 - 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化
- ⑤病診・病病連携の強化
 - 患者サポート室のさらなる充実
地域医療、入院支援、総合相談の3部門体制
 - 逆紹介の推進（令和5年度逆紹介率113.7%）
 - 入院支援部門の多職種による機能強化
 - 地域連携機関とのホットラインの運用強化
（循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等）
 - 「高松赤十字病院地域連携フォーラム」の開催
 - m3.com（医療従事者専用サイト）を活用した地域医療機関との連携強化
- ⑥チーム医療の推進
 - 多職種参加研修会、講演会等の開催
- ⑦救急医療
 - 救急医療スタッフの確保
 - 救急車の受入強化、応需率の向上
 - ドクターカーの有効活用
 - 救急隊との連携強化（勉強会の定期開催）
- ⑧周産期医療
 - 高度生殖医療センターの充実（胚培養士の確保と育成）
- ⑨がん医療
 - PET-CTの有効活用
 - リニアックの推進、放射線治療医の確保
 - 緩和医療の推進
 - がんゲノム医療の推進
- ⑩医療安全
 - 院内迅速対応システム（RRS）の体制強化
 - 医療安全の研修会参加の徹底
- ⑪院内感染防止
 - 院内感染対策室の機能強化
 - 感染対策講習会参加の徹底
 - COVID-19対策
- ⑫救護、防災体制
 - 能登半島地震への救護班の派遣
 - 備蓄材料の確保と保管
- ⑬医療機器・その他設備の整備
 - 超音波診断装置
 - 超音波血流計
 - 熱源システム
 - 非常用自家発電設備

●患者サービスの向上

- ①患者への情報提供
 - ホームページ、SNS（Instagram、Facebook）での発信
 - 広報誌「なんがでっきょんな」のWebマガジン化
 - 外来待合で健康講和12講の配信
- ②待ち時間の短縮
 - ホスピジョン（患者番号案内表示システム）
- ③オンライン面会
- ④接遇能力の向上
 - 職員の接遇研修の強化
 - 患者満足度の向上
 - ご意見箱の設置
- ⑤人間ドックの充実
- ⑥病院へのアクセス、駐車場問題の改善
 - 日赤シャトルバス
 - 平面駐車場の整備（約80台分増加）
- ⑦アメニティの向上
 - 患者Wi-Fiの整備
- ⑧コンシェルジュの配置



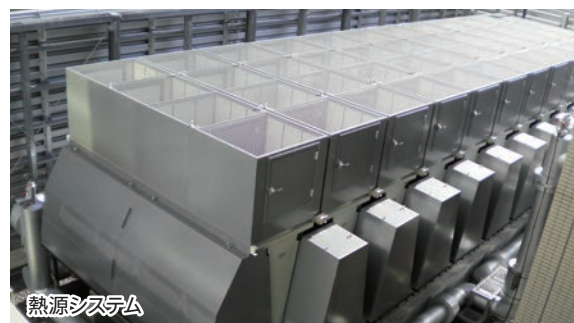
グランドオープン記念セレモニー



救護班（能登半島地震）



非常用自家発電設備（地域災害拠点病院施設整備費補助金）



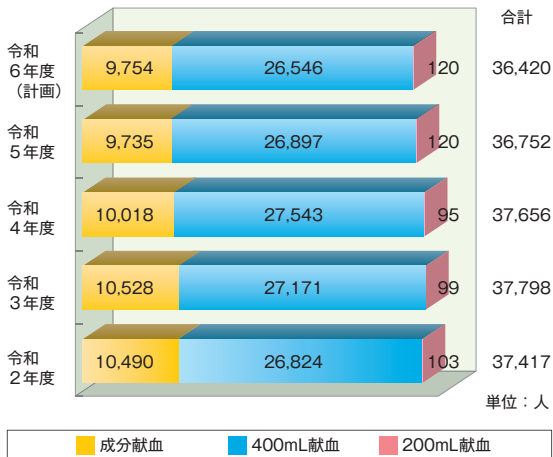
熱源システム



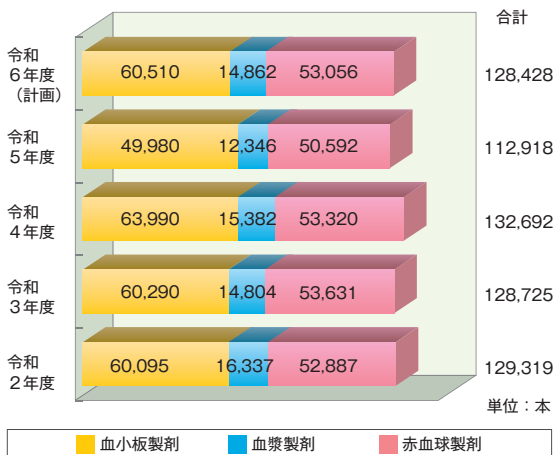
血液事業

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

1. 県内献血実績（人）



2. 県内輸血用血液供給実績（200mL換算本数）



3. 献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
令和6年度(計画)	330台	55.0人	362日	50.5人
令和5年度	322台	56.7人	362日	51.1人
令和4年度	341台	55.6人	360日	51.9人
令和3年度	322台	58.1人	361日	52.9人
令和2年度	301台	60.5人	360日	53.3人

4. 「全国学生クリスマス献血キャンペーン」

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、本県においてもアイデアを凝らしたイベントを令和5年12月5日から25日にかけて実施しました。

5. 「はたちの献血キャンペーン」

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和6年1月1日から2月29日までの2ヵ月間、「はたち」の若者を中心に広く県民に向け献血推進キャンペーンを実施しました。

6. 「若年層への普及啓発」

少子高齢化による献血者減少に対応するため、主に将来の献血を担う10代を中心とした若年層世代を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前セミナー」や「血液センターでの見学学習」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

7. 「献血Web会員サービス『ラブラッド』の推進」

献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を推進するとともに、「アプリ版献血カード」や「事前Web問診回答」、「献血予約」等の機能を導入したラブラッドアプリを活用し、複数回献血に協力を得られるよう取り組みました。特に若年層献血者の確保に向け積極的にPR活動を行いました。

8. 「献血協賛企業活動の推進」

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体が行なう献血活動の普及・拡大を推進しました。

9. 「各種媒体による広報」

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1 TEL 087-881-1500

献血ルーム「オリーブ」

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3 高松丸亀町参番街東館3F TEL 087-821-2300

【献血受付時間】 全血献血／9：00～12：30 13：30～17：00
成分献血／9：00～12：30 13：30～16：00



赤十字思想の普及

社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

赤十字思想の普及

◎「赤十字フェスタ2023」の開催

5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ2023」を開催し、赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施しました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
- 日 時／令和5年4月29日（土・祝） 11:00～15:00
- 場 所／高松丸亀町老番街前ドーム広場
- 内 容／
 - ・保健師による健康相談・体力測定コーナー 握力・血圧・体脂肪測定
 - ・献血コーナー 献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け
 - ・講習体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験
 - ・リラクゼーションコーナー
 - ・キャンペーンコーナー
 - ・平成30年7月豪雨災害救護活動等の写真展示
 - ・子ども用救護服試着体験、記念撮影
 - ・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力／香川県立高松南高等学校
- 参 加 者／赤十字ボランティア等 92人
一般来場者 約 1,759人

なお、当日の赤十字ボランティア等による募金は21,897円となりました。これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために、赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



◎「世界救急法の日(World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」(世界救急法の日)であり、記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者に一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 日 時／令和5年9月9日（土） 10:00～11:50
- 場 所／香川県社会福祉総合センター7階大会議室、第一中会議室
- 内 容／
 - ・高松赤十字病院「県民公開講座」
 - 演題 「四肢外傷の応急処置」
 - 講師 高松赤十字病院 整形外科医師 高井通宏
 - ・心肺蘇生体験講習（AEDの体験を含む）及び
 - 災害時に役立つ代用品やリラクゼーション体験
- 来 場 者／137人





香川県赤十字有功会

●香川県赤十字有功会の活動

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和5年度の総会は、8月3日(木)に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢53人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。総会に先立ち、赤十字に高額の活動資金の寄託がありました方々に池田豊ん支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

また、総会終了後、講演会を開催し、本社パートナーシップ推進部次長の高橋満徳氏による「変わりゆく未来への道標『日本赤十字社長期ビジョン』～創立150年に向けて～」と題した講演が行われました。

- 会員数／個人 45人 法人 105社
- 総会日時／令和5年8月3日(木)
- 場所／マリパレスさぬき
- 参加者／53人
- 社長感謝状／個人 5人 法人 7社
- 金色有功章／個人 6人 法人 11社
- 銀色有功章／個人 23人 法人 49社



有功会県外視察旅行は、平成30年7月豪雨災害で大きな被害を受けた岡山県倉敷市真備町を訪れ、被災状況や被災者支援の状況などについて災害ボランティアとして活動された方々からお話をお聞きするとともに、被災地の復興状況などを視察しました。

- 日時／令和5年10月10日(火)
- 場所／岡山県倉敷市真備町他
- 参加者／会員他 24名





評議員会

評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織され、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和5年度は、令和5年6月13日（火）、令和6年2月13日（火）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの令和4年度事業報告、決算、令和6年度事業計画、予算等が承認されました。

●日本赤十字社香川県支部役員名簿

※評議員任期 令和4年2月14日～令和7年2月13日

（令和6年3月31日現在）

職名	氏名	地区別	職名	氏名	地区別
支部長	池田 豊人		評議員	福岡 由紀子	丸亀市地区
副支部長	大山 智		〃	近藤 武司	〃
監査委員	長嶋 正信		〃	松浦 佳子	坂出市地区
〃	蓮井 明博		〃	高畑 光宏	善通寺市地区
〃	泉川 雅俊		〃	挽田 公孝	観音寺市地区
評議員	角田 朝則	高松市地区	〃	藤井 邦子	さぬき市地区
〃	大野 敏子	〃	〃	江川 京子	東かがわ市地区
〃	中村 絹代	〃	〃	植岡 澤江	三豊市地区
〃	稲毛 和子	〃	〃	大江 正彦	小豆地区
〃	林 茂子	〃	〃	伊藤 良春	東讃地区
〃	多田 廣子	〃	〃	谷川 俊博	中讃地区
〃	宮本美枝子	〃	〃	片岡 英樹	〃
〃	森下きよ子	〃	〃	香川 亮平	支部長選出
〃	伊藤 洋子	〃	〃	久米川 啓	〃
〃	多田 安寛	〃	〃	近藤 雅樹	〃
〃	岩崎 正朔	丸亀市地区	〃	川部 英則	〃



決算概要

●令和5年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科目	決算額(円)	構成比(%)	科目	決算額(円)	構成比(%)
社資収入	181,518,333	70.1	災害救護事業費	21,420,815	10.4
一般社資収入	141,331,704		救護看護師養成費	4,320,000	2.1
・会費収入	116,129,210		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	27,138,884	13.2
・寄付金等収入	23,499,494		奉仕団活動費	2,226,715	1.1
・指定事業社資収入	1,703,000		青少年赤十字活動費	3,600,254	1.7
法人社資収入	40,186,629		地域(市町)における赤十字活動費	20,508,000	10.0
・指定事業社資収入	0		赤十字運動普及・社員増強費	19,192,419	9.3
・その他社資収入	40,186,629		医療施設基盤整備交付金	3,550,000	1.7
本社からの事業交付金	8,835,854	3.4	血液事業基盤整備交付金	15,496,144	7.5
繰入金収入	2,703,088	1.0	国際救援活動費及び本社事業費	29,104,780	14.1
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,300,501	2.0	資金積立金(災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金)	20,075,000	9.7
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	6,630,435	2.6	資産管理費	3,679,083	1.8
前年度繰越金(年度当初事業資金)	54,051,444	20.9	事業管理運営費	35,591,252	17.3
歳入合計	259,039,655	100.0	歳出合計	205,903,346	100.0

歳入歳出差引（翌年度当初事業資金）53,136,309円

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。



 **日本赤十字社 香川県支部**
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号
香川県社会福祉総合センター内
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp
ホームページ : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagawa>

日本赤十字社香川県支部

検索

